

(2014/8/24版)

第8回MUレーダー・赤道大気レーダーシンポジウム
第260回生存圏シンポジウム

日時：平成26年9月16日(火) 13:30~18:00 (懇親会 18:00~19:30)

17日(水) 9:00~17:05

場所：京都大学 宇治キャンパス 木質ホール大会議室

主催：京都大学生存圏研究所

Web: <http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/ear/sympo.html>

プログラム

講演15分 + 質疑5分 (1鈴12分, 2鈴15分, 3鈴20分)

9月16日

(座長: 橋口浩之)

13:30 - 13:40 あいさつ

MUレーダー/赤道大気レーダー全国国際共同利用専門委員長 山本衛

13:40 - 14:00 MUレーダー上空で急発達した積雲対流の微細構造

柴垣佳明・久保達哉(大阪電通大)・橋口浩之(京大RISH)・H. Luce
(Toulon大, 仏)・山中大学(JAMSTEC)

14:00 - 14:20 Convective instabilities underneath mid-level clouds. Part I:
Results of MUR observations

H. Luce (Toulon-Var大, 仏/京大RISH)・A. Kudo (気象庁)・H.
Hashiguchi (京大RISH)・R. Wilson (LATMOS, CNRS, 仏)

14:20 - 14:40 Convective instabilities underneath mid-level clouds. Part II:
Results of simulations and comparisons with MUR observations

A. Kudo (気象庁)・H. Luce (Toulon-Var大, 仏/京大RISH)・H.
Hashiguchi (京大RISH)・R. Wilson (LATMOS, CNRS, 仏)

14:40 - 15:00 Measurement of vertical wind in precipitation by the MU radar: A
case study

Tong Gan・M.K. Yamamoto・H. Hashiguchi (京大RISH)・H. Okamoto
(九大応力研)・M. Yamamoto (京大RISH)

15:00 - 15:20 リモートセンシングおよび直接計測を組み合わせた大気微量物質の観測

矢吹正教・高橋けんし・Yutong Liu・吉川賢一・上杉拓磨・津田敏隆
(京大RISH)・林泰一(京大防災研)

15:20 - 15:40 2基の隣接した1.3GHzウィンドプロファイラレーダーを用いた豪雨発生に関
連する下部対流圏の水平風収束の観測

中城智之(福井工大)・山本真之・橋口浩之(京大RISH)

15:40 - 16:00

=== 休憩 ===

(座長: 齊藤明則)

16:00 - 16:20 赤道大気レーダーによるF領域沿磁力線不規則構造の観測

大塚雄一・Tam Dao・塩川和夫(名大STE)・山本衛(京大RISH)

16:20 - 16:40 Characteristics of the equatorial spread-F over Indonesia measured
by EAR, ionosondes, and GPS scintillation receivers

Dyah Martiningrum・M. Yamamoto (京大RISH)・Prayitno Abadi
(LAPAN, インドネシア)

16:40 - 17:00 EARサイトで観測されたGPS電離圏シンチレーションの11.5年間の出現特性

小川忠彦(NICT)・大塚雄一(名大STE)

17:00 - 17:20 SEALIONイオノゾンデによる赤道電離圏高度の変動: ionospheric ceiling

丸山隆・上本純平・石井守・津川卓也(NICT)・P. Supnithi (KMITL,
タイ)・T. Komolmis (チェンマイ大, タイ)

- 17:20 - 17:40 Beacon experiment of ionospheric irregularities in Thailand-Indonesia sector
Kornyanat Watthanasangmechai・M. Yamamoto (京大RISH)・A. Saito (京大理)・R. Tsunoda (SRI International, 米)・T. Maruyama・T. Yokoyama (NICT)
- 17:40 - 18:00 ISS-IMAPによる超高層大気撮像と地上観測装置の同時観測
齊藤昭則・秋谷祐亮・穂積裕太・幸野淑子(京大理)・坂野井健(東北大理)・山崎敦(JAXA・ISAS)・大塚雄一(名大STE)
- 18:00 - 18:20 The saturation of gravity waves traveling from the lower to the upper atmosphere observed by the MU radar and understood by a simple theory
加藤進(京大)・山本衛(京大RISH)・中村卓司(極地研)
- 18:00 - 19:30 === 懇親会 (プログラム末尾をご覧ください) ===

9月17日

深尾昌一郎先生記念特別セッション「レーダー大気科学の展開」(1)

(座長: 山本衛)

- 9:00 - 9:20 MUレーダー観測で明らかになった中緯度対流システムの階層構造
柴垣佳明(大阪電通大)
- 9:20 - 9:40 中層大気における内部重力波の実態とその役割
田中浩(名大名誉教授)
- 9:40 - 10:00 MUレーダー観測による中緯度電離圏の研究
大塚雄一(名大STE)・山本衛(京大RISH)
- 10:00 - 10:20 A short review on radar imaging with the MU radar
H. Luce (Toulon-Var大, 仏/京大RISH)
- 10:20 - 10:40 レーダーによる宇宙線観測
池田大輔・寺澤敏夫(東大宇宙線研)

10:40 - 10:55 === 休憩 ===

深尾昌一郎先生記念特別セッション「レーダー大気科学の展開」(2)

(座長: 橋口浩之)

- 10:55 - 11:15 1. 3GHz帯ウィンドプロファイラーの開発とその社会応用
橋口浩之(京大RISH)
- 11:15 - 11:35 「レーダー大気物理学」研究室における理工学融合
山中大学(JAMSTEC/神大理)
- 11:35 - 11:55 赤道大気上下結合
山本衛(京大RISH)
- 11:55 - 12:15 赤道ライダーによるTTL領域のオゾンとエアロゾル輸送過程の観測
阿保真・柴田泰邦・長澤親生(首都大)
- 12:15 - 12:35 赤道MUレーダー計画
津田敏隆(京大RISH)

12:35 - 13:30 === 昼食 ===

(座長: 下舞豊志)

- 13:30 - 13:50 アダプティブアンテナ信号処理による流星エコーの抑圧
橋本大志(京大情報)・西村耕司・堤雅基(極地研)・佐藤亨(京大情報)・佐藤薫(東大理)
- 13:50 - 14:10 大気レーダーの多機能化に向けたデジタル受信機の開発
山本真之・GAN Tong(京大RISH)・川村誠治(NICT)・橋口浩之(京大RISH)・中城智之(福井工大)・岡谷良和・山本衛(京大RISH)
- 14:10 - 14:30 信楽MUレーダーを用いたスペースデブリの形状推定に関する研究
河原淳人・山川宏・山本衛・橋口浩之(京大RISH)・佐藤亨(京大情報)・増成一樹(京大RISH)

14:30 - 14:50 IUGONETデータ解析システムを用いた太陽地球結合系の長期変動研究
新堀淳樹(京大RISH)・八木学(東北大PPARC)・田中良昌(極地研)・谷田
貝亜紀代・梅村宜生(名大STE)・上野悟(京大天文台)・小山幸伸(京大
地磁気センター)・阿部修司(九大ICSWSE)・IUGONETプロジェクトチ
ーム

14:50 - 15:10 南極大型大気レーダーで観測された冬季中間圏エコーの変動特性
西山尚典・中村卓司(極地研)・佐藤薫(東大理)・堤雅基(極地研)・佐
藤亨(京大情報)・西村耕司(極地研)・高麗正史(東大理)・富川喜弘・
江尻省・津田卓雄(極地研)

15:10 - 15:25 === 休憩 ===

(座長: 荻野慎也)

15:25 - 15:45 赤道域半年周期振動の年々変動と経度依存性について
大羽田剛史・廣岡俊彦(九大院理)・江口菜穂(九大応力研)

15:45 - 16:05 ベトナム・ハノイのプレモンスーン期下部対流圏に現れるオゾン増大
荻野慎也(JAMSTEC・神大)・藤原正智(北大)・野津雅人(極地研・
JAMSTEC)・塩谷雅人(京大RISH)・長谷部文雄(北大)・松本淳
(JAMSTEC・首都大)

16:05 - 16:25 Rainfall-driven diurnal cycle of Ciliwung River: Overview and
future prospects
Reni Sulistyowati (神大/BPPT, インドネシア)・Ratih Indri
Hapsari (State Polytechnic of Malang, インドネシア)・S. Mori
(JAMSTEC)・Fadli Syamsudin (BPPT)・S.T. Oishi (神大)・M.D.
Yamanaka (神大/JAMSTEC)

16:25 - 16:45 赤道域におけるKu帯衛星回線の降雨減衰継続時間と降水雲分布の関係につ
いて

前川泰之・竹本圭吾・田間章宏・柴垣佳明(大阪電通大)
16:45 - 17:05 EARおよびBLR観測から推定した雨滴粒径分布鉛直プロファイルに基づく対
流活動不活発時における降雨の特徴
下舞豊志・古津年章(島根大)・藤原亮(王子製紙)・橋口浩之(京大
RISH)

お願い

(1) 懇親会について

参加費: 一般: 4,000円、学生: 2,000円 (予定)
会場: 京都大学宇治キャンパス生協2階「ピアチ」
申込み: 当日、受付にて出欠をお知らせ下さい

(2) 発表について

講演会場にはPCプロジェクタ1台を用意します。ご自身でノートPCを接続して下
さい。それ以外が必要な場合には、事前に橋口(hasiguti@rish.kyoto-u.ac.jp)
まで御連絡下さい。

(3) プロシーディングについて

プロシーディングを作成いたします。発表いただいた方々には、下記要領にて原
稿を作成・ご送付いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。
発表で使われたPowerPointファイルをお送り頂いても結構です。縮小して印刷い
たします。

用紙: A4縦
ページ数: 2~6ページ
原稿締切: 2014年10月31日(金)
送付方法: WORDまたはPDFファイルを電子メールにてお送り下さい
あて先: 電子メール: ear-sympo@rish.kyoto-u.ac.jp
郵送の場合は下記宛に送付
〒611-0011 宇治市五ヶ庄
京都大学生存圏研究所 橋口浩之
電話 0774-38-3819
備考: 白黒印刷で作成します。